Italian Living Innovation

(伊)デロンギ社製

オイル密閉式
ラジエター型ヒーター

型式番号 R910912TF-G / M
（クリーム）　（ダークグレー）

取扱説明書

Made in China

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

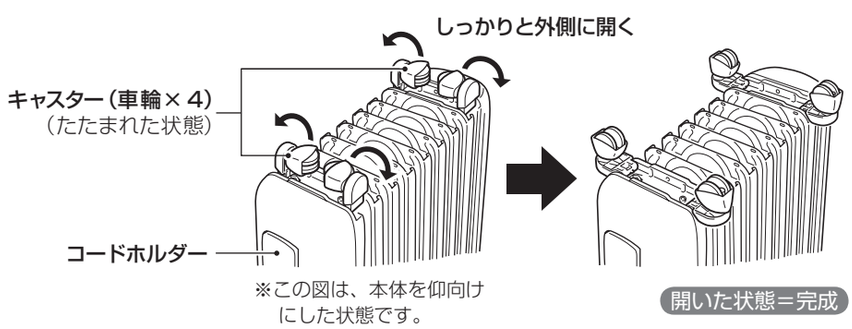
もくじ

安全上のご注意……1 ～ 5
各部の名称とはたらき……6
操作手順……7 ～ 8
ヒーターの上手な使い方……9
知っておいていただきたいこと……10
これは故障ではありません……10
真心点検について……10
故障かな？……11～12
お手入れ／保管のしかた……13
デロンギ・エコカバーの使い方……13
仕様……14
アフターサービス……14

折りたたみ式キャスターの開きかた

折りたたみ式キャスターを開く手順

❶ヒーターの底部を上にして仰向けにします。
❷すべてのキャスター（車輪×４）を、しっかりと外側に開きます。
❸ヒーターをゆっくりと起こします。（完了）



安全上のご注意　各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに分け、明示しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。

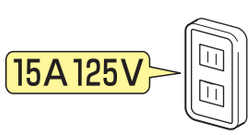
：発火注意
：感電注意
：高温注意
：禁止行為
：分解禁止
：強制／指示
：電源プラグをコンセントから抜く

電源について

⚠警告

●電源は、家庭用交流100V／50/60Hzをご使用ください。

●電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。



⚠注意

●ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

※詳しくは、10ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。

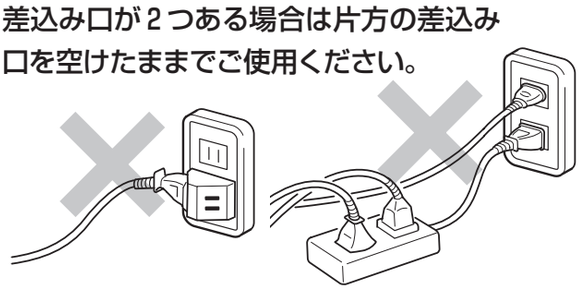
コンセントについて

⚠警告

●延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

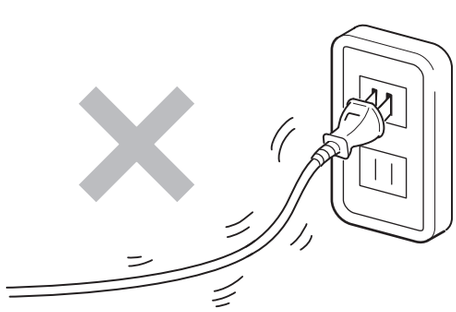
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

●コンセントは本製品だけ（単独）で使用し、差込み口が2つある場合は片方の差込み口を空けたままでご使用ください。



●取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。

感電や発熱の恐れがあります。

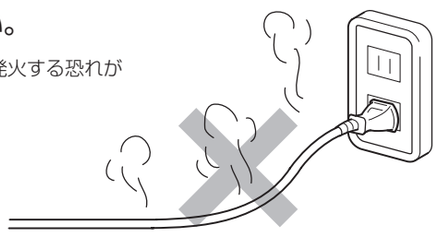


電源プラグ／電源コードについて

⚠警告

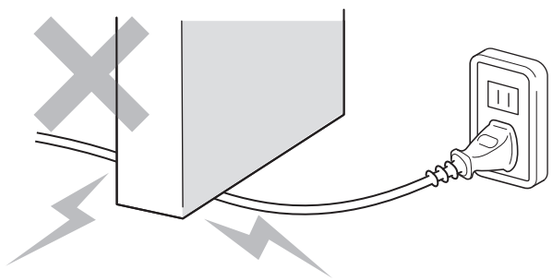
●ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）に、電源プラグ／電源コードの交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



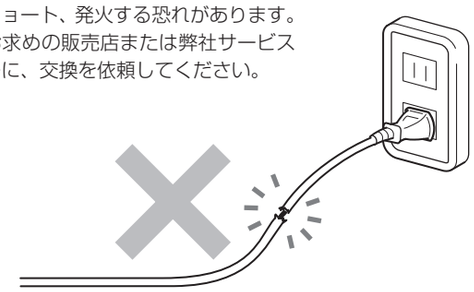
●電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、傷をつけないでください。

感電やショート、発火などの原因になります。



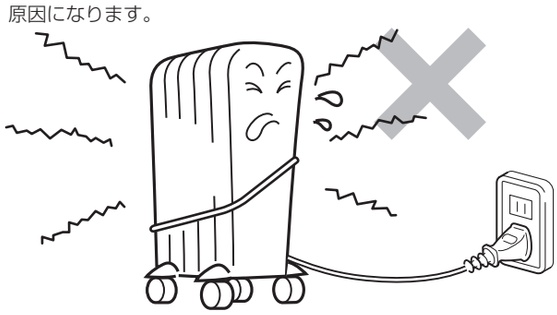
●傷付いたり、変形・破損している電源プラグ／電源コードは、絶対に使用しないでください。

感電やショート、発火する恐れがあります。
必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンターに、交換を依頼してください。



●ヒーターの運転中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



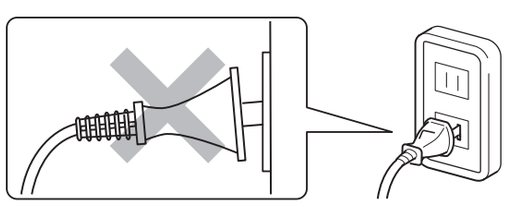
⚠注意

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。

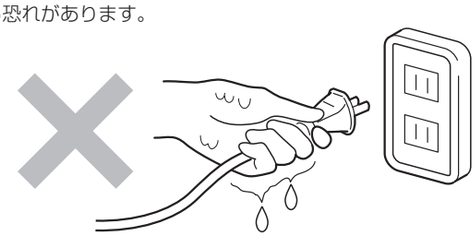
●電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。

不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。



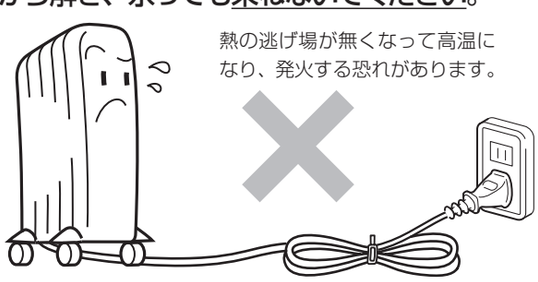
●濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電する恐れがあります。



●運転の際は、電源コードをコード･ホルダーから解き、余っても束ねないでください。

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。

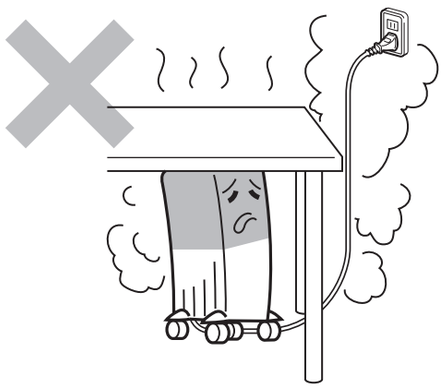


設置場所について

⚠警告

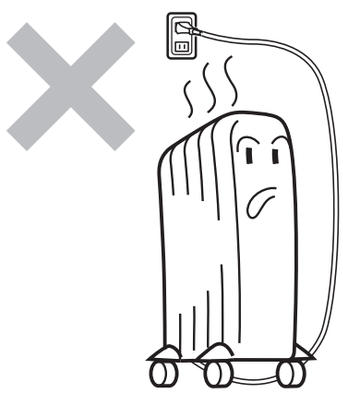
●テーブルや机の下でのご使用は、お止めください。

ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形･変質し、出火する恐れがあります。



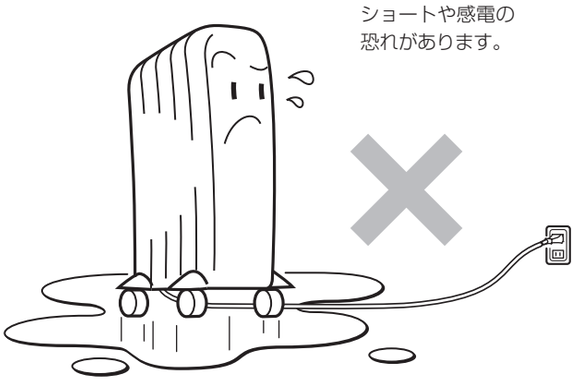
●電源をとるコンセントのすぐ下でのご使用は、お止めください。

暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因となります。



●屋外や水／湿気の多い場所（部屋）でのご使用は、お止めください。

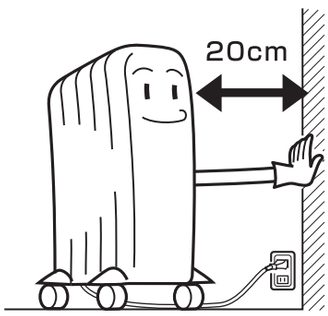
ショートや感電の恐れがあります。



⚠注意

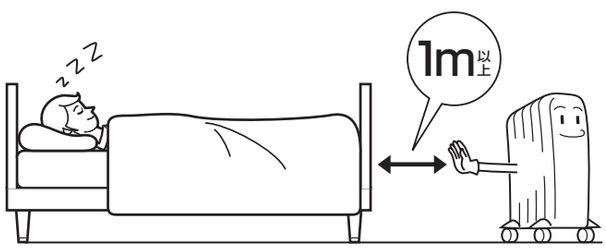
●壁や電源をとるコンセント、カーテンなどからは、20cm 以上離してください。

材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



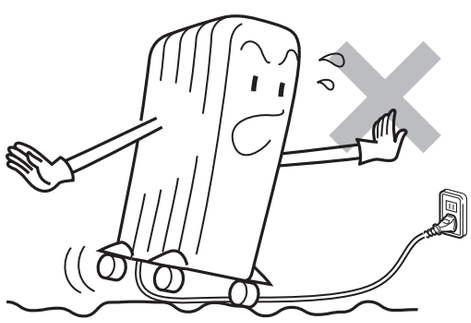
●人や家具などからは、1m 以上離してください。

オイルラジエターヒーターを寝室でご使用される場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考考慮して約１m以上の距離を取ってください。



●毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置いてください。

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



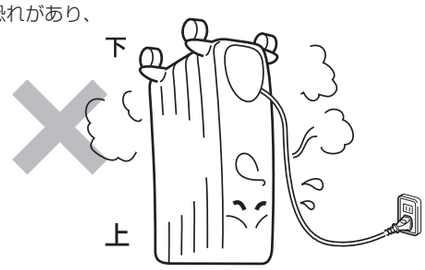
使用する際の注意

⚠警告

●ご使用の際は、必ず本体下部のキャスター（車輪４個）を水平に開き、しっかりと立ててください。（表紙参照）

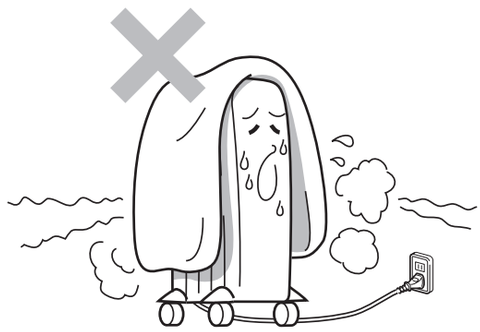
●逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



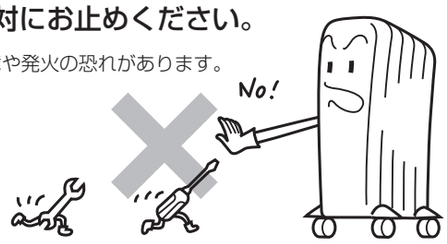
●本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



●本製品を分解したり、改造することは、絶対にお止めください。

故障や発火の恐れがあります。

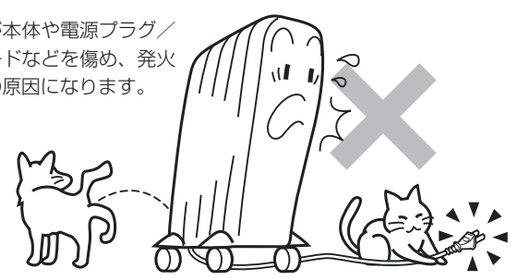


●長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って、電源が入る恐れがあります。収納・保管する際はデロンギ・エコカバーでホコリを防いでください。（13ページ参照）

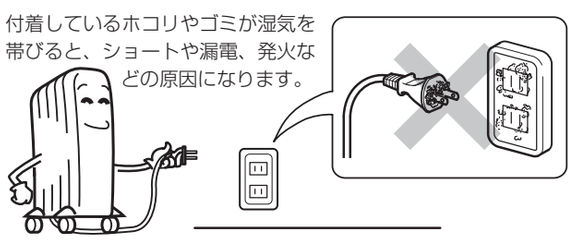
●猫や犬など、ペットの暖房に使用しないでください。

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



●定期的に、<u>電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミ</u>を掃除機などで取り除いてください。

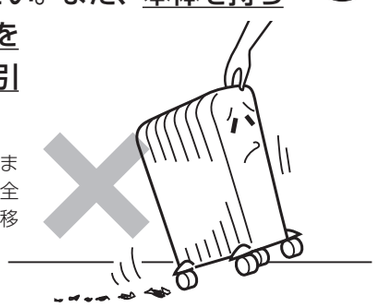
付着しているホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



⚠注意

●ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行なってください。また、<u>本体を持ち上げず、リングを持ちゆっくりと引いてください</u>。

床面が傷付く場合がありますので、必ずキャスター（全４輪）を床面につけて、移動してください。



●ラジエターのすき間などに、異物を入れないでください。

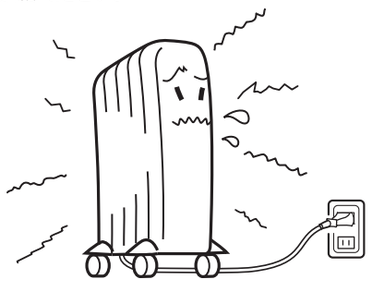
発火や故障の原因になります。

運転中の注意

⚠警告

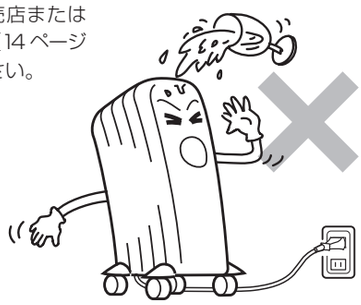
●万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）までご連絡ください。



●本体や操作部（電力切替えスイッチ、タイマー、サーモスタット）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。

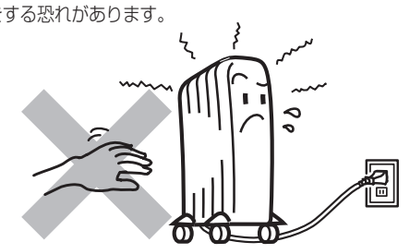
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を停止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）までご連絡ください。



⚠注意

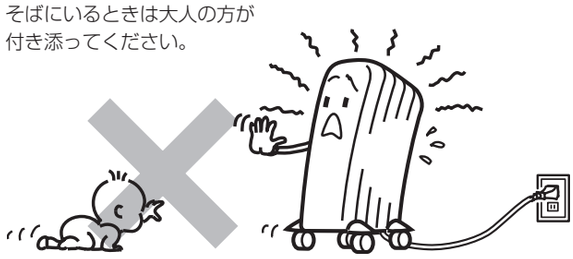
●運転中および停止直後は、ラジエター／フィン（放熱板）に触れないでください。

表面温度は、最高で約 80 ～ 90℃になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。



●小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添ってください。

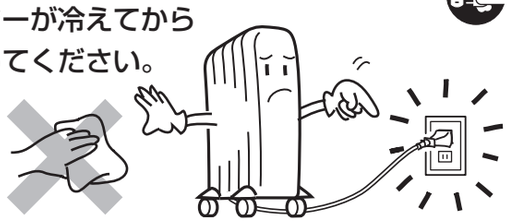
運転中および運転していないときもお子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。



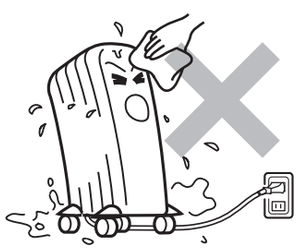
お手入れについて

⚠警告

●必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



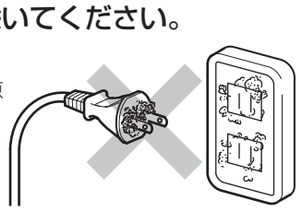
●絶対に、水に浸したり、水洗いをしないでください。



⚠注意

●ヒーターと壁や床のすき間、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除いてください。

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



●洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。

各部の名称とはたらき

〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル（★）を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環し、L 字型フラットフィン（放熱板）で効率良く放熱、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。　**★オイルの補充・交換は不要です。**

パイロットランプ
電力切替えスイッチを入れて電源が入ると点灯します。点灯時は電源が入っている（ON）状態を表わします。サーモスタットの設定により消点灯を繰り返します。

リング（引き手）
ヒーターを移動する際はここを持ち、持ち上げずにゆっくり引いてください。

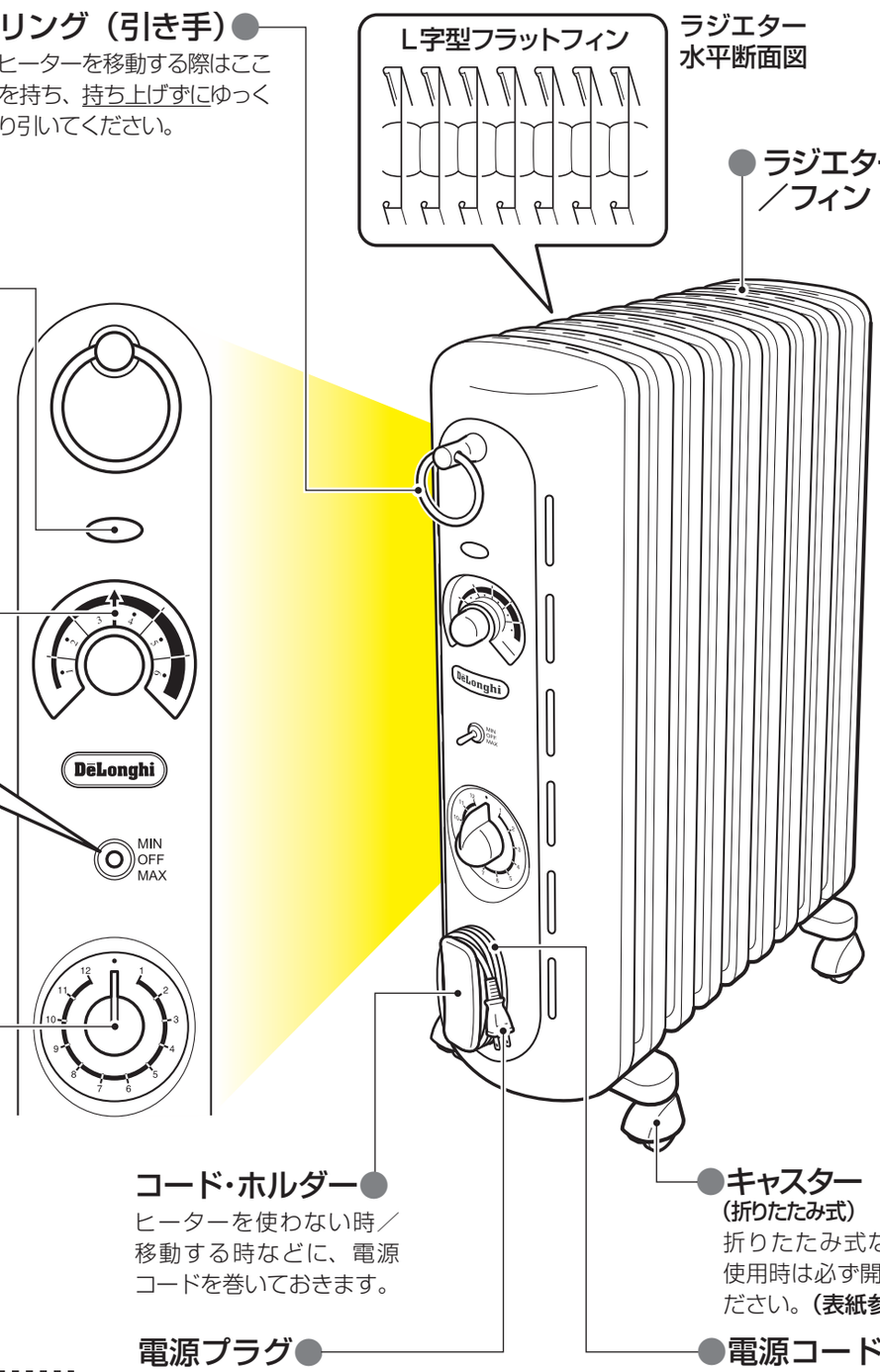
サーモスタット（ツマミ）
室温（＝適温）の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ツマミを右に回す（数字が大きくなる）ほど室温が高くなります。

電力切替えスイッチの位置
上（MIN）：650W
中（OFF）：電源 OFF
下（MAX）：1200W

12時間ONタイマー（ツマミ）
暖房の開始（ON）時刻を、1 ～ 12 時間先まで予約できます。
（タイマーの使い方については7ページ参照）

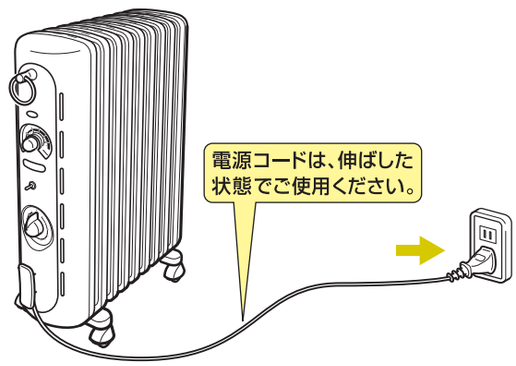
ヒーターを移動する際のご注意
床材の質·種類によっては、床面が傷付く場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。

付属品：デロンギ·エコカバー



操作手順

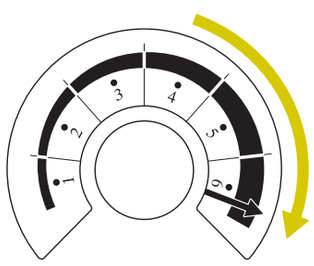
1 電源プラグをコンセントに差し込む



電源プラグを**壁面コンセント**に直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、**電源コード**は、コード･ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

⃠延長コードは絶対に使用しないでください。

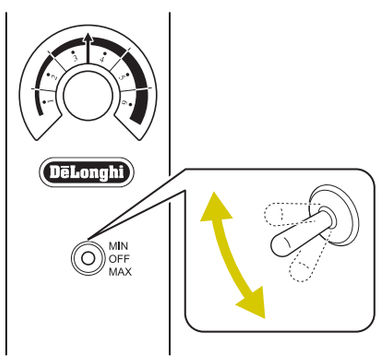
2 サーモスタットを最大にセットする



サーモスタットのツマミを右いっぱいに最大目盛まで回し、出力レベルを最大にセットします。

3 暖房運転を開始する

（電源を入れる）



電力切替えスイッチを上に上げる、または下に下げます。電源が入ると**パイロットランプ**が点灯し、暖房運転が始まります。運転当初は、スイッチを下に下げ、電力を強（MAX:1200W）にしてください。

電力切替えスイッチの位置とヒーター稼働状況

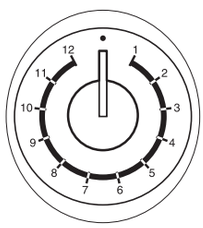
上（MIN）：650W
中（OFF）：電源 OFF
下（MAX）：1200W

ヒント 比較的暖かい日にご使用になる場合は、電力切替えスイッチを 1200W ではなく 650W に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。

タイマーを使用(＝予約暖房)しない場合は、手順4に進んでください

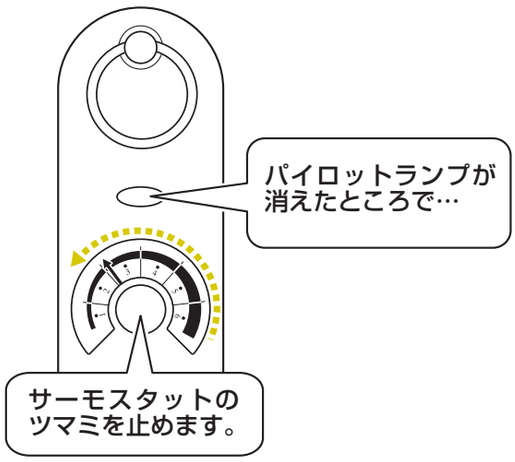
■12時間ONタイマーの使い方

ツマミを右に回し、暖房運転が開始するまでの時間（1～12 時間後）に合わせます。設定した時間が経過すると、自動的に暖房運転が始まります。



※予め、電力切替えスイッチで電源を入れておいてください。

4

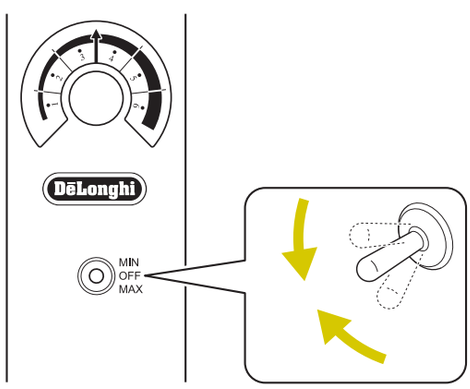


サーモスタットを設定する

お望みの温度（＝**適温**）になったら、サーモスタットのツマミをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源のON/OFF を繰り返しながら適温を保ちます（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）。

※適温を上げるときは、右（時計回り）に回し、下げるときは左（反時計回り）に回します。

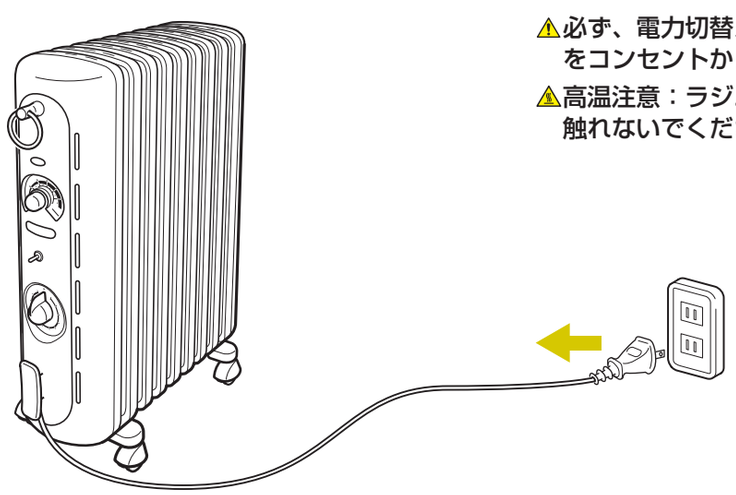
5



暖房運転を停止する
（電源を切る）

電力切替えスイッチを中央の位置に戻して、電源を切ります。
電源を切ると、パイロットランプが消灯します。

6



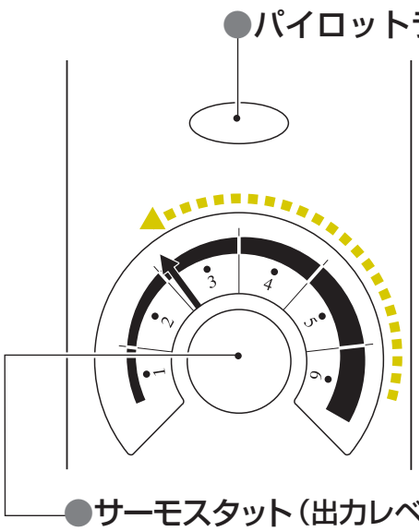
電源プラグをコンセントから抜く

⚠必ず、電力切替えスイッチを OFF にした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠高温注意：ラジエターは、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。

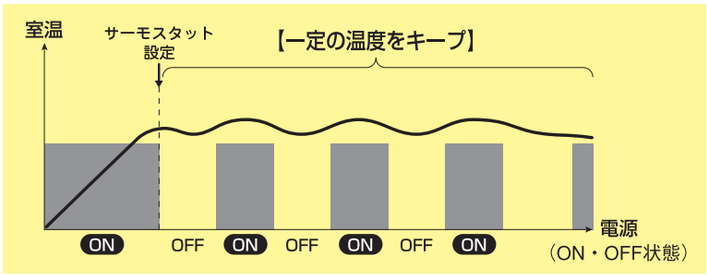
ヒーターの上手な使い方

サーモスタットを使おう



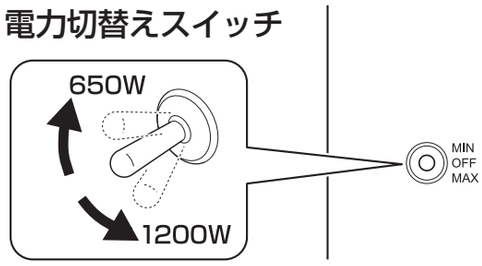
デロンギヒーターには、電源の ON と OFF を自動的に繰り返すことでお好みの室温を一定に保つ、サーモスタットが付いています。
少し暑いくらいに暖かい…そんな状態で使っていては、電気代もかかってしまいます。サーモスタットを上手に使って、ムダな暖めすぎを防ぎましょう。

どうやって温度を一定に保つのかというと…



お部屋が適温になったと感じたら、パイロットランプが消えるポイントまでダイヤルを戻します。

電力切替えスイッチを活用



	650W	1200W
電気代	約 14 円	約 26 円

※ 1 時間あたりの最大電気代目安。1kW/ 時の電気代を 22 円で算出した場合。

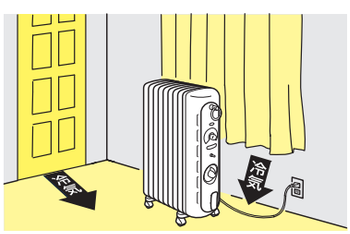
このデロンギヒーターは 650W・1200W の電力切り替えが可能です。
必要に応じて（あるいは季節にあわせて）、電力スイッチを切り替えて使うのが経済的です。
サーモスタットと同様に、暖め過ぎのムダを省くためにも、電力切り替えを利用しましょう。

必要に応じて電力を切り替えて使えば経済的です。
せまいお部屋や、秋口、春先のように外気温があまり低くない場合は、650W でも暖房効果が得られます。

効果的な設置場所

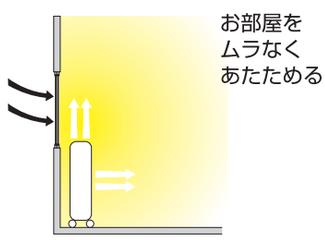
温風で強制的に暖める暖房とは違って、輻射熱でじっくり穏やかに暖めるデロンギヒーターの場合、どこに設置するかということと、ちょっとした工夫で暖房効果がかなり変わってきます。

部屋の中でも、熱の逃げやすい窓際や外気に触れている壁にデロンギヒーターを置いてください。

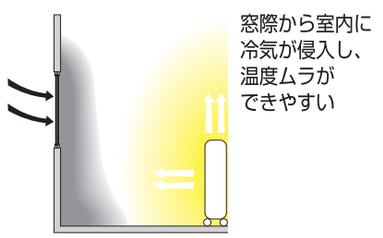


デロンギヒーターの熱で冷気をブロックし、暖房効果を高めることがポイントです。

良い例 窓際に置く



悪い例 窓際に置かないと…



その他の工夫
厚手で長めのカーテンを引く。ドアの開閉頻度を減らす工夫で、効果的な暖房が得られます。

知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、12A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、**契約電力**（電気料金の請求書「基本契約欄」に 00A と記載）**を超えていないかどうか**確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流（A）} = \frac{\text{消費電力(W)}}{\text{100(V: 電圧)}}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。**
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)について

1 時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1 kW/h ＝ 22 円として算出した場合）

電源を入れてから 30分～1時間（電力レベル：MAX（強））	部屋が適温に達した後 サーモスタットで調節（ヒーター稼働率:60%の場合）
約26円/時間	約16円/時間

これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、ヒーター内部で天ぷらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

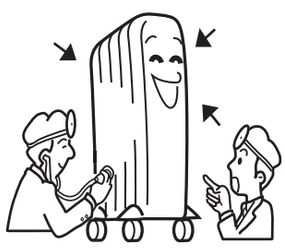
パネル内の青白い光

周囲が暗いと、サーモスタットやタイマーのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットやタイマーが、自動的に電源を ON ／ OFF する際のもので、故障ではありません。

真心点検について

長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間（3 年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（14 ページ参照）までお問い合わせください。



故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチを中央の位置に戻して電源を切り（＝運転を停止し）、

症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電力切替えスイッチを上に上げる、または下に下げてもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かくならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのツマミを、パイロットランプが点灯するまで右（時計回り）に回します。お望みの温度（適温：体感温度）になったら、ツマミをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。
		サーモスタットのツマミを今よりさらに右に回し、今より大きい数字に合わせます。
	12 時間 ON タイマーが数時間後に暖房運転を始めるよう設定されている	12 時間 ON タイマーの目盛を ● に戻します。
電力切替えスイッチを上に上げる、または下に下げると、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットのツマミを、パイロットランプが消えるまで左（反時計回り）に回してみます。止るまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる （目安：強（MAX）運転時で約 40℃）	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格 15A の壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差込み口（刃受）が 2 つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口（刃受）が 2 つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けておきます。
	コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい	近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形･破損している	お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードをコード･ホルダーから解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。

修理を依頼される前に､以下の点をお調べください。

以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は14 ページ「アフターサービス」を参照してください。

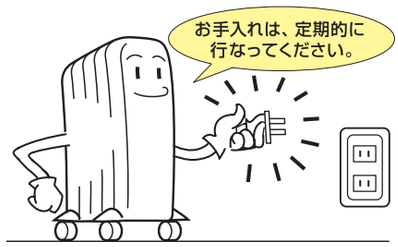
症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
タイマーが正しく動作しない＝タイマーが左に回転せず、時計音もない	タイマーが故障している可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）にご連絡ください。
タイマーに設定した暖房の開始（ON）時刻になっても、暖房が始まらない	電力切替えスイッチの電源が入っていない	電力切替えスイッチを上に上げる、または下に下げて電源を入れてください。（7ページの❸参照）
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットの出力レベルが部屋の温度より低い場合は、自動的に暖房運転が止ります。出力レベルを上げるには、ツマミを右（時計回り）に回してください。（8ページの❹参照）
1 時間後に暖房運転が開始するようタイマーを設定したが、15 分ほど経過したら目盛が●に戻ってしまった		一度12 時間後（目盛：12）に設定し、目盛を●にゆっくり戻しながら、再度 1 時間後に設定しなおしてください。
タイマーに設定した暖房の開始時刻と、実際の時刻に誤差がある		タイマーがゼンマイ式なので、1 回設定すると約 20 分ほど実際の時刻と誤差がでる場合があります。
部屋が暖まらない **※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります**	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのツマミを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	電力切替えスイッチが上（MIN）の位置にある	電力切替えスイッチを下に下げて、電力レベルを最大（MAX）にしてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離した場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～ 1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。部屋を暖めたい 1 時間前に暖房運転が始まるようタイマーを設定しておくと便利です。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取扱いください。 電力切替えスイッチを中央の位置に戻して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルを新聞紙などで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、弊社サービスセンター（14 ページ参照）にご連絡ください。

お手入れ／保管のしかた

お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

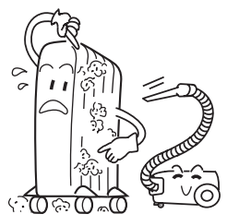
水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。

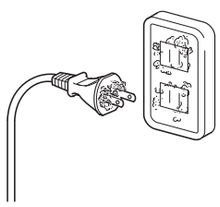


● 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

●本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



● 壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



●収納／保管する際は、付属のデロンギ･エコカバーを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。

デロンギ・エコカバーの使いかた

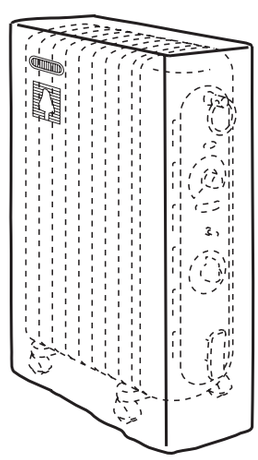
1〉**ホコリよけのカバーとして**:シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2〉**ご不用時／回収（再資源化）ご依頼時の梱包材として**：デロンギヒーターに使用しているオイルには、環境に有害な有機塩素化合物･重金属が含まれておりません。しかし、自治体によっては、ご不用になったオイルヒーターを引き取らない場合があります。

その際は、下記の要領に従い、**弊社サービスセンター（次頁参照）**までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について▶ 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが､送料はお客様のご負担（元払い）となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ **ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ･エコカバーに包んでお送りください。**なお、デロンギ･エコカバー以外のもので梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また､修理や点検と区別するため､外箱または送り状に､**必ず「再資源化」と明記してください。**



※デロンギ･エコカバーは、無漂白の綿 100%で出来ています。

この製品は J-Moss グリーンマーク対応製品です。

J-Moss とは､「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示」を規定した JIS 規格（JIS C 0950）です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（ＰＢＢ）、ポリブロモジフェニルエーテル（ＰＢＤＥ）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

J-Moss グリーンマーク

仕 様

製品名称		デロンギヒーター　L 字型フラットフィン　12時間ONタイマー付
型式番号		R910912TF-G/M（G：クリーム／M：ダークグレー）
適用畳数		3～8畳
定格	電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
	消費電力	650・1200 W
外形寸法／質量（※）		長さ 49.0 ×幅 24.0 ×高さ 65.5cm／15.0kg
安全装置		転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ
電源コードの長さ		2.5m
付属品		デロンギ·エコカバー

※外形寸法および質量の各数値は、キャスターを開いた状態のものです。

アフターサービス

●使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、11～12 ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- **使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる**
- **操作パネルや放熱板に、水やジュース（液体）などをこぼした**
- **電源コード、電源プラグが変形／破損している**
- **本体に、強い衝撃を与えた**
- **取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない**

●万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に**①お求めの時期 ②製品名称と型式番号③故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いします。

●保証期間中（3 年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

コールセンター

修理について Tel.0120-804-280
Tel.0120-692-885
／Fax.045-450-3291

お問い合わせ Tel.0120-064-300
Tel.0120-692-880

●横浜：〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9　安田倉庫（株）内 4 号ビル
●大阪：〒 564-0044　大阪府吹田市南金田 2-21-25

ホームページでのお問い合わせ（URL）―― **http://www.delonghi.co.jp**

DHI-70131

Italian Living Innovation

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載！デロンギフォーラム無料会員募集中！

詳しくは http://www.delonghiforum.jp

デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)

再生紙を使用しています。